## 授業改善推進プラン（生活･家庭科書式）　　教科（生活科）

令和５年度授業改善推進プランの評価

・植物の観察などを通して、変化の様子や世話の仕方に関心をもち、それらに生命があることや成長していることに気付くことができた。
・コロナ禍で身近な人や社会と関わる学習については、積極的に取り組めてはいない。
・諸感覚を生かした観察を意識できているが、絵や文にまとめて表現する力には、個人差がある。

実態

１年
・「いくぞ！がっこうたんけんたい」では、２年生に案内をしてもらい校内を紹介してもらうことで、新宿小学校の一員としての自信を付けることができた。
・「わたしのはなをそだてよう」では、アサガオを育てる活動を通して植物が自分たちと同じ生命をもっていることに気付き、大切に世話をすることができた。また、植物の生長や色、形の変化に注目して観察することができた。
・タブレットの使い方を学習すると、カメラ機能やペイントソフト、スクールタクトなどに興味をもって取り組めた。

２年
・「わくわくどきどき２年生」では、１年生に知らせたい校内の様々な場所について、気付いたことや発見したことについて、校内を案内するなど、意欲的に活動することができた。
・「大きくそだてわたしの野さい」では、きゅうりやピーマン、ナス、オクラなどを学年で協力して世話をしている。また、個人で育てているミニトマトについては、葉っぱが増えたり、実がついたりすることを喜びながら愛着をもって接していた。

指導上の課題

①自然や身近な社会の様子を正確に捉え、文章や言葉、絵で表現する力を育て、相手に伝える力を身に付ける。
②他学年や友達と間接的に交流する時間を確保する。
③自然の仕組みやその不思議さ、面白さを実感したり、いろいろな人やものに出会い、地域の暮らしや働く人々の様子を捉えたりする力を育てる。

令和６年度の具体的授業改善

| 低学年 |
|---|
| ①　活動や体験を通して諸感覚を働かせ、絵や文章の表現力を高める。観察や見学では、視点を明確にし、植物の生長の様子や変化などに気付く力を培う。活動カードについては、いつでも誰もが見られるように掲示し、他の児童の表現方法を参考にできるようにする。カードの内容や表現方法を適宜評価し、表現を工夫している、変化や工夫の良さなどに気付いている児童のカードを、全体で紹介する。<br>②　学習したことや気付いたこと、そこから考えたことを言葉や絵などの表し方を工夫して表現し、発表や手紙、掲示物などを通して他学年や友達に伝える。それらを見たり聞いたりして感じたことなどを、手紙や掲示物などを通して交流し合う。<br>③　新たな気付きや発見ができるように、活動や体験の時間を十分に取る。活動中の児童のつぶやきを聞き逃さず、全体で取り上げることで、気付きを深めていく。 |